

第17回 宗教から考える歴史教育

—宗教思想とイスラームの教え方—

静岡歴史教育研究会

報告者:

藤原 聖子 (東京大学人文社会系研究科)

宗教から考える歴史教育

—世界宗教パラダイムの問題—

勝沼 聡 (慶應義塾大学文学部)

イスラームから考える歴史教育

—教育現場におけるイスラームの取り上げ方—

コメント:

齋藤 真希 日本倫理思想史の視点から

水野 彰紀 高校世界史の視点から

司会: 岩井 淳・戸部 健 (静岡大学人文社会科学部)

今回の研究会は、「宗教から考える歴史教育」という共通テーマを掲げ、教室で教えるのが難しいと言われる「宗教とイスラーム」を取り上げます。これまで日本の公教育では、宗教を正面から扱うことを避ける傾向にありましたが、世界がグローバル化する中、様々な宗教と接する機会が増え、曇りのない目で、それらを理解する必要に迫られています。宗教へのアプローチは、公民や倫理だけでなく、歴史教育にとっても必要不可欠と言えます。

報告者のお一人、藤原聖子先生は、宗教学の観点から「公教育において宗教をどう扱うか」というテーマを一貫して追究され、2011年には『教科書の中の宗教』(岩波新書)というご本を上梓されました。もう一人の勝沼聡先生は、エジプト近現代史の専門家ですが、イスラームについても造詣が深く、共著で『イスラームってなに?』(かもがわ出版、2017年)という書物を執筆されています。お二人から宗教やイスラームを、教育現場でどのように扱い、いかに有益な教材とするかについてお話しいただきます。ふるってご参加ください。

日時: 2019年8月9日(金) 14:00~18:00

会場: 静岡大学人文社会科学部B棟401教室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html

入 場: 無 料

主 催: 静岡大学人文社会科学部学部長裁量経費「歴史教育の地域的基盤を構築する教材・教授方法の探究と高大連携の発展」、静岡歴史教育研究会

問合せ先: 岩井 淳 (静岡大学人文社会科学部) YQS02036@nifty.com

懇親会: 午後7時から開催予定。参加希望の方は岩井までメール連絡を